

サステナビリティ

Sustainability Society

社会

製品・サービスで社会課題を解決する

私たちは「お風呂は人を幸せにする」を創業の原点に、その想いを受け継ぎながら事業活動を進めており、製品・サービスを通じて社会課題解決に努めています。特に高齢化が進む社会で問題となる入浴事故の低減や、共働き世帯の増加が進む中で家事の負担軽減など、時代のニーズに応じた商品の提供を進めています。毎日使う商品だからこそ、これからもその時代の社会課題に向き合っていきます。



サプライチェーンマネジメント — CSR調達の促進

ノーリツグループは全ての仕入れ先さまとの連携により社会課題を解決し、世界中で選ばれ続ける企業へと成長します。



仕入れ先さま 企業 社会
トリプルウィン調達

ノーリツグループは、「トリプルウィン調達」(仕入れ先さま、企業、社会のウィン)を実現するため、最終ブランドメーカーとして、全ての仕入れ先さまと双方向のコミュニケーションを通じてCSR調達活動に取り組んでいます。

CSR調達ガイドラインの遵守要請やSAQ*などを通じた人権・児童労働・紛争鉱物などの実態把握を毎年おこなっています。

* 国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン版SAQ (Self Assessment Questionnaire)

人権尊重の取り組み

事業活動にかかわる全ての人々の幸せを目指します。

国際基準*をもとに「ノーリツグループ人権基本方針」を定め、人権尊重に取り組んでいます。全ての方々に安全で安心してノーリツとお付き合いいただけるよう、あらゆるガイドラインや制度の整備、取り組みを行っています。また、従業員への人権教育や社内内外の通報窓口の設置など、モニタリングの仕組みも整えています。

* 世界人権宣言、国際人権規約、ILO中核的労働基準、国連グローバル・コンパクト、国連ビジネスと人権に関する指導原則など

障がい者雇用と自立支援の取り組み

障がいのある従業員が活躍できる職場づくりで、「多様性のある風土づくり」と「企業の社会的責任」を果たしていきます。

当社の特例子会社エスコアハーツは2021年、障がい者の雇用促進および雇用の安定に関する取り組みが優良な中小企業が認定される「もにす認定」を受け、様々な事業展開で職域・職能を開発し、多数・定着雇用に取り組んでいます。

2015年には就労継続支援A型事業所として株式会社すまいるハーツを設立しました。事業を通じて社会課題を解決することを目的に、障がい者福祉施設で廃給湯器を分解・リサイクルする業務を委託しています。なお、2022年の国内グループ全体の障がい者雇用率は3.55%です。



障がい者の活躍推進に取り組む国際イニシアチブ「The Valuable 500」に加盟

社会課題解決型商品の開発・普及 — 新規分野の開拓・既存技術の進化・社会課題解決型商品の提案・拡販

■ 非住宅分野でも社会課題解決型商品を展開し、事業領域を拡大

当社では、家庭用の給湯機器だけでなく、非住宅領域でも事業を展開しています。昨今、社会環境が急速に変化する中、社会課題解決型商品を展開し新たな価値を提案することで事業領域を拡大しています。2022年には、食品衛生法の改正により、HACCPに沿った衛生管理の実施が求められ、一部の食品加工事業者では、調理器具を80℃以上で殺菌洗浄する等の衛生管理が必要となったことから84℃出湯に対応した業務用給湯器を発売しました。また、サービス付き高齢者住宅の「個浴」向けに、おふろの遠隔「見まもり」機能を搭載した給湯器を拡販することで介護人材不足の社会課題解決に貢献します。農業分野では、大手農業資材メーカーと共同開発した農作物の収穫量増加に貢献する「低温CO₂局所施用システム」の提供により、当社の技術力をいかして多岐にわたる展開をしています。



スマートフォンでも確認可能

■ 感染症拡大による除菌ニーズに対応

99.9%の除菌性能
キレイで安心な入浴を実現します。

2020年に発生した「新型コロナウイルス感染症」により、世界的に除菌への意識が高まっています。ノーリツでは99.9%*以上の除菌性能のUV除菌ユニットを搭載したキレイで安心な入浴をサポートする次世代給湯器を開発・販売しています。



* 試験機関: 衛生微生物研究センター 試験番号: 28D-BT-019 試験方法: UV除菌ユニットを通過前後の試験液の菌数を測定。流量9.5L/min。試験結果: 99.9%以上除菌(実使用での実証効果ではありません。使用環境により効果は異なります。)

■ 共働き世帯の増加に伴う家事負担を軽減

「ラク家事」を提案
手軽に本格的な調理を実現します。

ノーリツのガスビルトインコンロに搭載している「マルチグリル」はグリル内部にある温度センサー付き下火バーナーで専用容器底面の温度を正確に検知し、メニューに合わせた火加減を自動で調整します(特許取得済み)。2022年には「マルチグリル」搭載のガスビルトインコンロ「プログレ」をリニューアルし、さらに家事がラクになる“ごはん早炊きモード”“無水調理モード”の機能も追加しました。



Voice | ニーズが多岐にわたる業務用分野の社会課題にスピード感をもって対応

当社は事業活動を通じて業務用の分野でも社会課題解決を進めていますが、家庭用以上にその事業を取り巻く急速な環境の変化への対応が求められます。またそのニーズは事業主や施設によって多岐にわたるため柔軟かつ付加価値をつけて提供していく必要があります。

昨年は、HACCPに沿った衛生管理の制度化により、一部の食品加工施設で求められる調理器具の殺菌洗浄を可能とした、瞬間式では業界で初めての84℃出湯が可能な高効率業務用ガス給湯器を発売しました。環境配慮型製品でもあり、発売以来多くのお問い合わせをいただきました。このほか、農業や介護の現場に向けた商品も投入しており、いずれもこの分野で強みを持つ企業と協業して進めてまいりました。今後もお客様のニーズに耳を傾け、環境・安全・安心・人手不足といった課題解決に向けスピード感をもって対応していきます。

楠 克博
執行役員
マーケティング本部
非住宅事業部
事業部長



サステナビリティ

Sustainability Society

社会

人的資本開発を促進

私たちは、従業員を最も大切な資産として捉え、一人ひとりが能力を最大限発揮できる環境づくりに努めています。

また、既存事業で収益を上げるだけでなく、新規事業を育成する「両利きの経営」を実現するため、成長するチームを形成し、高い成果を出せる人材を輩出する取り組みを進めています。



従業員コミュニケーション — 企業風土改革・人材育成(イノベーション)

人材こそ最も重要な資産と捉え、従業員との対話を大切に、次世代のビジネスリーダーを計画的に発掘・育成します。

■ 経営塾

将来を担う経営人材の育成を目的に「経営塾」を開講しました。各部門から選抜された20名が、NEXT選抜教育として倫理観・突破力・構想力・対話力・経営知識を身につけながら、次期中期経営計画の事業戦略と実現に向けた具体的な打ち手を経営者に提案することをゴールに取り組んでいます。



■ 未来ワークショップ

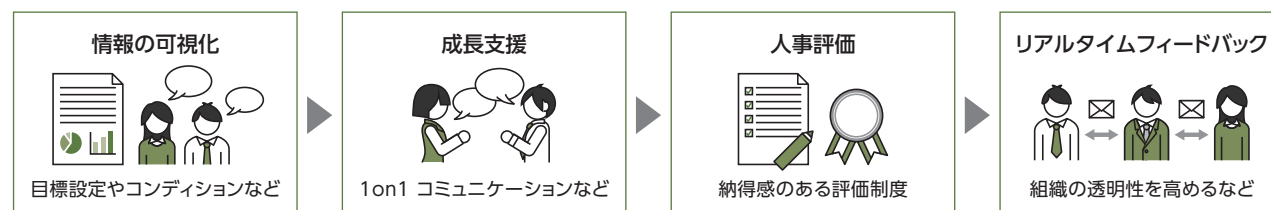
20~30代の若手従業員を対象に「未来ワークショップ」を開催しました。外部環境が目まぐるしく変化する中、「私たちが実現したいノーリツの未来」を経営者とワークショップを実施しながら考えました。実際に対話を重ねる中で、実現したい未来へ向けた行動を具体化しました。それぞれの職場での実践へと導いていきます。



■ 新人事制度“パフォーマンスマネジメント”を導入

成果の最大化に向け人事制度改革をおこない、ジョブ型(職責型)を導入、パフォーマンスマネジメントを展開しています。これにより、リアルタイムフィードバックや1on1コミュニケーションを積極的に取り入れ、従業員が同僚や上司と常に期待されているパフォーマンスをすり合わせることができるようになりました。また、ワークエンゲージメントをリアルタイムで測るツールも導入し、目標やコンディションなどの情報が可視化されることによって、組織の透明性を高め、納得感のある評価制度に改革しました。

パフォーマンスマネジメント



従業員コミュニケーション — 働き方改革

多様な人材が能力を最大限発揮できる職場を提供し、生産性高く最適な働き方で成長を促します。

当社では、劇的に変化する社会のニーズに対応し、多様な価値観・才能・ライフスタイルを持った人材が、それぞれの持てる力を最大限に発揮するための整備づくりをおこなっています。全ての部門で業務の効率化を進め、業務配分の適正化や従業員の労働時間短縮を図ることによって、ワークライフバランスの適正化を推進しています。適正なワークライフバランスは、従業員のプライベートを充実させ、自己研鑽の促進や育児・介護と仕事の両立に大きな効果をもたらすと考えています。2022年10月に施行された「産後パパ育休」(出生時育児休業)においてもスムーズに育児休業を取ることができるように、育休取得経験のある先輩/パパの声を社内報で取り上げるなど、取得を促しました。



WEB社内報

従業員の健康と働きがい

持てる力を最大限発揮するためには、従業員が心身ともに健康であることが不可欠です。持続的な成長を図るため、健康経営を進めています。

当社は従業員の健康に配慮することによって、「経営面においても大きな成果が期待できる」との基盤に立って、健康を経営的視点から考え、戦略的に実践しています。人事総務部と健康保険組合が連携して従業員とその家族の健康的な生活をサポートしています。なお、2021年には、ストレスチェックとあわせて、従業員のワークエンゲージメントをリアルタイムで測るツールも導入し、従業員も会社もベストコンディションで企業活動を図る仕組みづくりもおこないました。

ノーリツ健康宣言

「新しい幸せをわかす」実現のため、社員一人ひとりの「健康」と「幸せ」を希求します。

「新しい幸せを、わかすこと。」ノーリツグループが真に追い求め社会に約束する存在意義です。「新しい幸せ」をお客さまに実感していただくには、それをお届けする当社の社員一人ひとりもまた「健康」であり「幸せ」であることが必要です。

真意の「健康」とは、ただ単に「病気でない」ということではなく、身体的・精神的・社会的に良好であり、調和のとれた状態のことです。

会社・健康保険組合・労働組合が三位一体となって、支援・サポート体制を充実し、「新しい幸せをわかす」社員一人ひとりの「健康」と「幸せ」を追い求め、活き活き・ワクワクと働く社員がいっぱいの会社を目指します。活き活き・ワクワク働く多くのノーリツグループ社員によって、「人と地球の笑顔に向けて暮らしの感動をお届けする」ことを宣言します。

ミッションである「新しい幸せを、わかすこと。」を達成する原動力は、全ての従業員の幸せであり、従業員の心身の健康は働く力の源であると考えています。この考え方のもと、「ノーリツ健康宣言」を行い、従業員一人ひとりが心身ともに元気で、持てる力を最大限発揮できるように取り組んでいます。

Voice | ミッション「新しい幸せを、わかすこと。」の実現のために従業員の幸せもわかす

従業員は大切な人財であり、最大限力を発揮できる環境づくりが私の責務と考えています。会社の発展には多様な人材が必要であるため、まずはライフスタイルが変化しても付加価値を生みながら働き続けられる環境の提供を第一に考えています。業務面では、従業員が「変革・挑戦・創造」するために、しっかりと方針を理解し、自身の業務が方針に結びついていると感じる「貢献実感」を得ることが大切と考え、経営者・上司・仲間と対話する機会を設けています。そしてその挑戦を評価するところまでを含めた仕組みづくりを行っています。また、幹部職がその方針の背景まで納得したうえで相互理解することが方針展開をするうえで欠かせない要素であるため、幹部職同士が徹底的に話し合う場づくりも進めています。

林 哲也
企画管理本部
人事総務部
部長

